

- 問1 豊臣秀吉が全国の百姓に対して、刀、脇指（わきざし）、弓、槍、鉄砲などの武器を持つことを禁じ、それらをすべて没収した政策を何といいますか。（2026年 広島県公立入試 類似）
1. 身分統制令                      2. 太閤検地                      3. 刀狩                      4. 楽市・楽座
- 問2 豊臣秀吉が「刀狩」を行った主な目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 徳島県公立入試 類似）
1. 武士にのみ武器の携帯を許可することで、実力で主君を倒す下克上の風潮を広めるため                      2. 没収した武器を溶かして通貨を作り、貨幣経済を全国に普及させるため                      3. 外国から持ち込まれた鉄砲などの武器を回収し、鎖国体制を強化するため                      4. 農民による一揆を防ぎ、農業に専念させることで年貢の徴収を安定させるため
- 問3 織田信長や豊臣秀吉の時代、城郭の屏風や襖には狩野永徳による「唐獅子図屏風」のような豪華で力強い絵画が描かれました。こうした華やかな「桃山文化」が栄えた時期に、茶の湯を大成させ、簡素なものに美を見出す「わび茶」の境地を確立した人物は誰ですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）
1. 近松門左衛門                      2. 清少納言                      3. 歌川広重                      4. 千利休
- 問4 14世紀から16世紀にかけてヨーロッパで起こった、古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとする運動を何と呼びますか。この運動は科学技術の発展を促し、後の大航海時代の到来や、日本への鉄砲・キリスト教の伝来の背景となりました。（2024年 富山県公立入試 類似）
1. 宗教改革                      2. 産業革命                      3. ルネサンス                      4. ピューリタン革命
- 問5 14世紀頃にイタリアの諸都市から始まり、のちにヨーロッパ各地へ広まった、古代ギリシャやローマの文化を復興させようとする動きを何といいますか。（2025年 和歌山県公立入試 類似）
1. ルネサンス                      2. 宗教改革                      3. 産業革命                      4. 啓蒙思想
- 問6 安土桃山時代の文化を示す「南蛮屏風」には、巨大な外国船が港に到着し、洋服を身にまとった人々が日本の商人と交易を行う華やかな様子が描かれています。この時期に行われたポルトガルやスペインとの貿易に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本は生糸を主な輸出製品として、ヨーロッパの国々から金や銀などの貴金属を輸入した。                      2. 日本は茶や陶磁器を輸出し、ヨーロッパからガラス製品やキリスト教の聖具を輸入した。                      3. 日本は国内で増産された銀を輸出し、見返りとして鉄砲や火薬、生糸などを輸入した。                      4. 日本は鉄砲や火薬の製造技術を海外へ輸出し、見返りとして大量の銀を輸入した。
- 問7 16世紀後半、織田信長が築いた城においてその形式が確立された、日本の城の中心部に位置する、展望や防御を目的とした最も高い塔状の建築物の名称として適切なものを選びなさい。（2024年 滋賀県公立入試 類似）
1. 天守                      2. 櫓                      3. 本丸                      4. 石垣
- 問8 太閤検地では、全国でバラバラだった容積の単位を統一するため、特定の大きさの「枧（ます）」が公認の道具として使われました。このように、秀吉が計測の基準を全国で統一した最大の目的は何ですか。（2021年 鳥取県公立入試 類似）
1. 貨幣経済を浸透させるために、米ではなく金や銀による納税を全国に義務付けるため。                      2. 南蛮貿易において、輸出する銀の量を正確に測り、海外との取引を有利に進めるため。                      3. キリスト教の布教を制限するために、宣教師たちが持ち込む物資の量を監視するため。                      4. 全国の土地の生産力を同じ基準で把握し、農民から徴収する年貢の量を安定させるため。
- 問9 織田信長が実施した経済政策の目的と内容について、当時の社会背景を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 滋賀県公立入試 類似）
1. 市場での税を免除して自由な取引を認めるとともに、関所を廃止して流通を盛んにした。                      2. 問屋の活動を制限し、米の売買を許可された有力な武士のみに限定して商売を行わせた。                      3. 農村の余剰生産物を管理するため、各地の要所に新たな関所を設けて厳格な流通税を徴収した。                      4. 特定の商人に「座」としての特権を認め、幕府への献金を強化することで財政の安定を図った。
- 問10 安土桃山時代における文化のあり方について、千利休が重んじた「わび茶」の精神やその背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2017年 愛知県公立入試 類似）
1. 華やかさを抑え、質素で静かなたたずまいの中に深い美しさを見出すとする精神                      2. 幽玄な美を追求し、面や独特の所作を用いて物語を演じる精神                      3. 形にとらわれず、風景や庶民の日常生活をありのままに描こうとする精神                      4. 金銀をふんだんに使い、城郭の障壁画に見られるような豪華絢爛さを極める精神
- 問11 16世紀後半における、日本とポルトガルを中心とした「南蛮貿易」の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれか選びなさい。（2025年 島根県公立入試 類似）
1. 仏教を広めることを目的とした宣教師たちが、日本から茶や陶磁器を大量に買い付けた。                      2. 産業革命を経たイギリスから、機械製品や綿布が日本へ大量に輸出された。                      3. 江戸幕府の鎖国政策により、長崎の出島においてオランダとの間でのみ行われた。                      4. キリスト教の布教を伴い、日本からは銀が、ヨーロッパ側からは鉄砲や硝石などがもたらされた。
- 問12 太閤検地がそれまでの土地制度（荘園制）と大きく異なる点について、農民との関わりから述べたものとして正しいものはどれですか。（2023年 和歌山県公立入試 類似）
1. 土地の売買を完全に自由化し、市場価格に応じた現金を納税させる制度へと移行した。                      2. 貴族や寺社が所有する荘園の権利を保障し、検地によってその私有地をさらに拡大させた。                      3. 一つの土地に対して、実際に耕作している農民一人を検地帳に登録し、年貢の負担者とした。                      4. 家族の人数や性別に応じて土地を割り当て、6年ごとに調査を行う仕組みを全国に広めた。
- 問13 16世紀、ポルトガルやスペインなどのヨーロッパ諸国が、危険を冒してまで日本を含むアジアへの新航路を開拓した主な理由として、当時の経済的背景を正しく説明しているものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教のみを目的としており、アジア諸国との貿易による経済的利益は全く期待していなかったため。                      2. 産業革命に必要な石炭や鉄鉱石を確保し、アジア全域を植民地として直接支配するための拠点を築くため。                      3. イスラム商人が仲介していたために価格が高騰していたアジアの特産物を、直接手に入れるため。                      4. モンゴル帝国の崩壊により、シルクロードを通じた陸路での安全な交通が完全に失われ、生活必需品の輸入が止まったため。